

輸送 フランスで3区間の高速線が開業予定

原題：Faster to the west
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.3 (2017-3) pp.38-41

2017年、フランスで3区間、合計約700kmの高速線が開業する予定です。7月2日のダイヤ改正からツール～ボルドー間の南ヨーロッパ大西洋高速線が開業し、パリ～ボルドー間が2時間で結ばれます。パリ（近郊を含む）～ボルドー間は1日33往復に増発されます。多くの列車は最新の2階建てTGV L'Océaneに代わり、最高速度は320km/hに向上します。信号システムは従来のTVM300に加え、ETCSレベル2が設けられます。SNCFは2019年にはこの区間で年間240万人の利用増を見込んでいます。同じ日にルマン～レンヌ間のブルターニュ・ペイドゥラワール高速線も開業し、パリ～レンヌ間は1時間26分になります。



出典: Railway Gazette International

ブルターニュ・ペイドゥラワール高速線の試験列車

輸送 中国の地下鉄の進展は止まらない

原題：Chinese metros keep growing
誌名：MRI：Metro Report International Vol.31 No.1 (2017-4) pp.20-23

2016年12月から2017年1月にかけて、中国の15以上の都市で地下鉄が新規開業あるいは延伸しました。合肥では初の地下鉄が12月に部分開業しました。青島、昆明、重慶、広州、香港、武漢、北京、天津、福州、鄭州、ハルビンなど多くの都市で路線が延伸しました。広州では隣接する仏山まで延伸しましたが、都市間をまたぐ地下鉄はこれが初めてです。また、8両編成でラッシュ時に3560人を輸送できる8A形電車が初めて北京の16号線に登場しました。



出典: Metro Report International

輸送力の大きい8A形が北京地下鉄16号線で初めて使用された

車両 燃料電池車両iLintはローカル線をターゲットにする

原題：iLint targets the regional railway
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.3 (2017-3) pp.58-60

ドイツのアルストムが2016年のイノトランスに展示した燃料電池車両iLintが注目を集めました。この車両は非電化ローカル線をターゲットにしており、気動車のように排気ガスを出さず、回生ブレーキにより省エネも達成できます。日本を含む各国で試作燃料電池車が発表されていますが、量産車はまだ現れていません。iLintは2017年末に認証を得られる見込みで、2018年に営業運転となりそうです。1回の水素充填で600～800kmを走行できます。



出典: Railway Gazette International
イノトランス2016で展示されたプロトタイプ車iLint

燃料電池の変換効率は標準的なディーゼルエンジンと比べて大きな差はありませんが、回生ブレーキの使用により省エネになります。ドイツの運輸相は60編成の燃料電池車の導入への期待を示しました。

輸送 インド鉄道の貨物部門の今後を考える

原題：Rethinking IR's freight task
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.5 (2017-5) pp.51-54

インド鉄道の収入の3分の2が貨物であり、その多くが石炭、鉄鉱石、石油、セメントなど重厚長大品輸送によるものです。しかし、石炭は需要の減退、石油はパイプラインとの競合など課題を抱えていて、同鉄道は高付加価値製品の輸送やコンテナ輸送に軸足を移す努力をしています。国立交通政策委員会では、現在



出典: Railway Gazette International

コンテナ列車の割合が増加しているインド鉄道の貨物部門

30%である国内貨物輸送の鉄道のシェアを2031～32年度に50%に引き上げるという目標をインド鉄道に課しています。高速道路の延長が現在の9万6000kmから将来は20万kmに延伸される予定であり、鉄道のシェア拡大は容易ではありません。



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。

⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp